

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 1月 10日

公表: 令和5年 2月 1日

事業所名 北風と太陽 東郷

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0	8	フロアマットの色やカーテン、マットで学習スペースを仕切り活動でスペースを分けている。	利用者増加に合わせて机、カーテン、マットなど環境構成を設定し直していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	7	1		既定の人数は配置されているが個別対応が必要な児童が多い場合は手厚く療育できるよう配置していきたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	5	スロープや手すりの設置はないがクッションフロアやコーナーカーバーなどの特性に必要な配慮はしている。	配慮が必要な児童にはその都度特性に合わせた設備を用意していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	4	毎日室内、玩具のアルコール消毒、除菌を行っている。エアコンの洗浄フロアマットの張替えも行った。	活動に合った空間になるよう改善していきたい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	3	イベントの反省会を行い振り返りを行っている。業務改善のための職員のチェック表を定期的に行い自己評価を行っている。	業務改善のための職員のチェック表を見直し再度目標を立てて活かしていきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	一年に一度保護者に事業所アンケートを実施しており要望があった項目については改善してきている。	今年度の要望も一つずつ改善していき、毎月の会報にてその経過を周知していきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	フランチャイズのホームページにて公表していることを会報にて周知している。すぐに関覧できるようにQRコードを掲載している。	今年度も結果の概要を会報にて周知すると共にQRコードを掲載していきたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8	第三者による外部評価は行っていない。	今後コロナが落ち着いた際には行っていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	東郷町社会福祉協議会の行っている研修に職員全員で参加している。	内部研修、外部研修ともに積極的に行っていきたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	児発管が6か月に1回保護者面談でアセスメントを行いそれをもとに計画を作成している。	今後も児発管が6か月に1回保護者面談でアセスメントを行いそれをもとに計画を作成していきたい。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	アセスメントのチェック表を基準に状況を把握している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	具体的で適切な支援計画を立てている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	1	定期的な療育会議を行い職員に周知している。	正確に把握できるように課題や具体的な支援内容を個別で示したものを用意していく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	イベントは職員一同で企画立案しチームで行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	季節の行事を取り入れ変化を持たせている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8	0	児発管が個別、集団を分けて支援計画を立てている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	3	朝のミーティングで個々のスケジュールをたて打ち合わせを行うようにしている。	支援内容を全員が把握できるようなツールや担当の分担を明確にするためのルールを決め実践していきたい。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	6	日報を記入の際に日々振り返りを行っている。また土祝日イベントは後日反省会にて振り返りを行っている。連絡事項はLINEで共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	リムで個別に記録を取り御家庭と共有している。日報では支援の検証、反省を行っている。	職員一同で協力して記録をとるようにし支援の検証を全員で把握できるようにしていきたい。
20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	1	2~3か月に1回モニタリングを行い支援内容について見直しを検討し療育会議にて決定している。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	サービス担当者会議が開催される場合は必ず参加している。コロナ禍でzoom開催された会にも参加している。	コロナ禍で開催される機会が少ないが必要性を感じるタイミングでこちらからのアプローチも今後はしていきたい。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	6	母子保健・子育て支援の関係者とのつながりがなく連携ができていない。	母子保健・子育て支援の関係者との連携できる体制を整えていきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0	医療的ケア児の受け入れがない。	受け入れる際には各関係機関と連携していきたい
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0	医療的ケア児の受け入れがない	受け入れる際には各関係機関と連携していきたい
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	7	児発は全員保育園幼稚園に通園しているため移行支援の対象児なし。	移行支援が必要な場合には情報共有していく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	7	昨年就学時に不安を抱えているご家庭がなかった為移行支援は行う必要が無かった。	移行支援が必要な場合には情報共有していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0	社協の研修にて近くに新設された豊明市児童発達支援センター見学に参加し研修を受けた。	豊明の児童発達センターとのつながりが出来たので今後も研修や助言を受けていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	7	一年前はパラリンピックのペットボトルツリー製作に参加したが今年は健常児と交流できる機会を作れなかった。	今後交流する機会があれば積極的に参加していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	0	管理者が参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1	送迎時の保護者からの連絡事項をLINEにて共有している。	
8	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	2	児発管が相談のあった保護者には面談を行い家庭での支援方法をお伝えしている。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約時に管理者が説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0	6か月に1回の面談時に支援計画の同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	5	保護者が数名ずつ交流できるような親子イベントを2回開催した。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	保護者からの申し入れには迅速に対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	毎月イベントの様子(活動概要)や次月行事予定、連絡事項を掲載した北風通信(お便り)を発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	十分に注意している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	子供たちに対しては配慮した伝え方を心掛けている。保護者に対しては口頭、LINE、電話などで分かりやすく伝達している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	2	地元のお年寄りにボランティア活動として芋ほりや木工を体験させて頂く機会を設けた。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	職員がマニュアルを把握出来るように周知している。	地震、火事の避難訓練だけではなく緊急事態のいろいろなパターンを想定した訓練を行っていきたい。職員の訓練を行ったり、保護者にも周知できるよう、お便りでお知らせしていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1	地震、火事の避難訓練は年に2回イベントで行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	1	てんかん児にはかかりつけ医などの緊急時連絡先一覧を職員に常に携帯するよう準備している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	現在医師の指示を受けるアレルギー児はいない	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	作成していつでも閲覧出来るようになっている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	虐待防止の研修を担当職員が受講している。	虐待防止委員会で研修内容を職員全体が把握できるよう定期的に開催していく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	0	身体拘束を行う計画の児童はいない。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年 2月 1日

アンケート期間:令和5年 1月 9日~令和5年 1月 25日

事業所名 北風と太陽 東郷

保護者等数(児童数) 4名 回収数 4名 割合100 %

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1	3			・少し狭い ・人が多いと狭い印象	大型のジャングルジム・滑り台を撤去、トランポリンは使用時のみ置くように改善している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3			1		契約時だけでなく職員の配置が代わる際にお知らせしていく機会を設けたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3		1			スロープや手すりなどのバリアフリー化はできていないがクッションマットやコーナークッションを設置し必要な配慮はしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	2			そうじや整頓がされていない	毎朝アルコール消毒や除菌器で室内や玩具の清掃を行っている。物が多いため雑然としているので改善していきたい。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3			1		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2		2			一年前はパラリンピックのペットボトルツリー製作に参加したが今年は健常児と交流できる機会を作れなかった。
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	4					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	1		2	1		面談時や送迎時にご家庭での支援の仕方についてアドバイスしているが今後はペアレントトレーニングの知識をつけ支援していきたい。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4					
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		3			親子イベントを企画してコロナ対策で数名ずつ交流できる機会を設けたが連携をとれるほどの交流はできなかった。
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4						

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3			1	ホームページにイベントのブログを掲載していることを周知したり、毎月発行している北風通信でもっと情報を提供していきたい。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	4				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	2	1		1	緊急時と感染症についてのマニュアルは作成配布したが今後防犯マニュアルを作成したい。昨年は初めて不審者訓練を行った。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			2	平日利用のみの子の為の避難訓練を今年は企画して利用者全員が訓練できるようにしていきたい。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	4				
	23	事業所の支援に満足しているか	4				

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。